

目次

Contents

● 事業を通じた社会課題解決 輸送システム／エネルギー環境／産業機器	01
● 編集方針	07
● 会社概要	08
● トップメッセージ	09
● パフォーマンスハイライト	15
● 事業の概況と戦略	17
船舶海洋	18
車両	19
航空宇宙	20
ガスタービン・機械	21
プラント・環境	22
モーターサイクル&エンジン	23
精密機械	24
● 研究開発	25
● 川崎重工グループのCSRと5つのテーマ	
川崎重工グループのCSR	27
テーマ1 事業による価値創造	29
テーマ2 マネジメント	33
テーマ3 従業員	47
テーマ4 環境への取り組み	55
テーマ5 社会貢献	81
● 第2回有識者ダイアログ	85
● 役員紹介	87
● 株式情報	88
● 拠点紹介	89

● 報告媒体

お読みいただく目的にあわせて3つの報告媒体を用意しました。

1. 冊子版：ダイジェスト版と位置付け、ポイントをコンパクトにご紹介します。
2. フルレポート(本誌)：当社 Web サイトからご覧いただけます。冊子の内容に加え、より詳細な内容をご紹介します。
<http://www.khi.co.jp/ir/library/annual/index.html> <http://www.khi.co.jp/csr/report/index.html>
 また、当社グループWebサイトの「IR情報」「CSR情報」では、さらに広い範囲で財務情報、株式情報、個別CSR情報などを検索・参照いただけます。
<http://www.khi.co.jp/ir/index.html> (IR情報) <http://www.khi.co.jp/csr/index.html> (CSR情報)
3. 環境情報詳細版：環境情報に特化したPDFファイルです。環境データ集もこちらに掲載しています。
<http://www.khi.co.jp/csr/report/detail/index.html>

● 免責事項

本レポートのうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で把握可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従って、これらの業績見通しにのみを依拠して投資判断を下すことはお控え下さるようお願い致します。実際の業績は、外部環境および内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、対米ドルをはじめとする円の為替レート、税制や諸制度などがあります。本レポートは、当社グループの過去と現在の事実だけでなく、発行日時点における計画や見通し、経営計画・経営方針に基づいた予測が含まれています。これらは記述した時点で入手できた情報に基づいた仮定ないし判断であり、諸条件の変化によって将来の事業活動の結果や事象が記述内容とは異なったものとなる可能性があります。

Editorial Policy

編集方針

川崎重工グループは、従来はアニュアルレポートで報告してきた経営の方向性、事業環境・戦略等の要素と、CSR報告書に掲載してきたサステナビリティに向けた取り組みを、ステークホルダーの皆様にも総合的に評価いただくため、今年度からこの二つの年次レポートを統合して、「Kawasaki Report」として発行します。

当社グループのグループミッションは「世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する“GlobalKawasaki”」であり、本来的に、『事業』と『サステナビリティ』『社会課題を解決する使命』との親和性、同軸性が高いという特長があります。本レポートは、この点について、ステークホルダーの皆様により一層の共感をいただくとともに、当社の企業活動・事業活動に対する皆様のご期待やご指摘を頂戴するコミュニケーションの土台として位置付けていきたいと考えます。

当社グループは今後、経営とCSRを一元化した取り組みをより一層進めていくこととしております。本レポートでは、次年度以降もこれらの取り組みについての報告を充実させていくと同時に、当社グループによる不適切事案につきましても、今後の是正措置に関する考え方と併せて報告していきます。

● 対象期間

2012年度(2012年4月1日～2013年3月31日)、一部、中期経営計画2010(2010年度～2012年度)に関係する部分は、2010年度・2011年度の活動、および2013年度の活動を含む)

● 対象範囲

川崎重工工業株式会社および連結子会社95社(国内48社、海外47社)、持分法適用非連結子会社17社 ※但し一部は単体情報

● 参考ガイドライン

- ・環境省「環境報告ガイドライン(2012年版)」
- ・GRI「サステナビリティ・レポート・ガイドライン第3.1版」

Corporate Profile

会社概要

社名

川崎重工業株式会社

本社所在地

東京本社
〒105-8315 東京都港区海岸1丁目14番5号

神戸本社
〒650-8680 神戸市中央区東川崎町1丁目1番3号
(神戸クリスタルタワー)

代表者 取締役社長 村山 滋

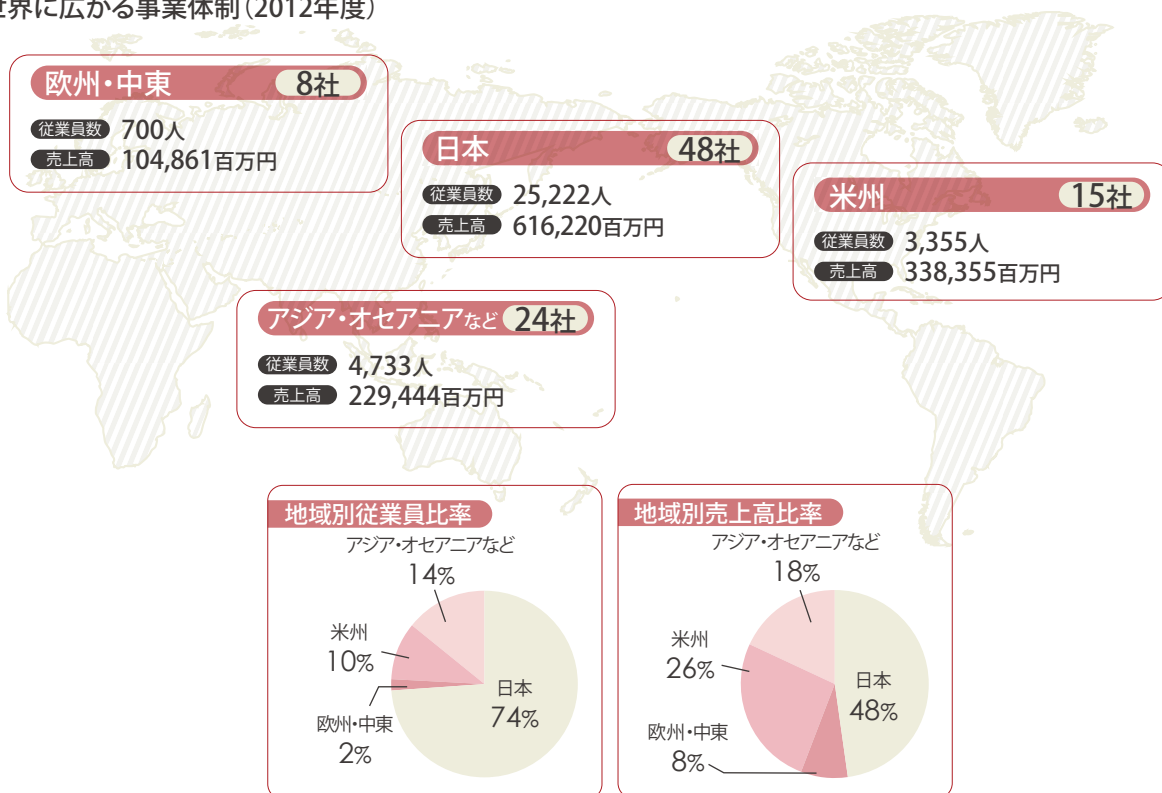
資本金 104,484百万円(2013年3月31日現在)

発行済株式総数 1,671,892,659株(2013年3月31日現在)

売上高
・連結 1,288,881百万円(2013年3月期)
・単体 983,921百万円(2013年3月期)

従業員数
・連結 34,010人(2013年3月31日現在)
・単体 15,067人(2013年3月31日現在)

■ 世界に広がる事業体制(2012年度)



■ 創出価値およびステークホルダーへの価値配分(2012年度)

お客様、またはお客様を通じて社会に提供した価値

	金額(億円)	内容
提供価値	12,888	売上高

提供価値の内訳

	金額(億円)	内容
お取引先	10,475	事業コスト(従業員、社会、政府・行政を除く)
従業員	1,907	給与および賞与
社会	7	社会貢献支出額
政府・行政	131	法人税等
創出価値	367	提供価値から従業員、社会、政府・行政を控除した額
提供価値総額	12,888	

創出価値の配分

	金額(億円)	内容
債権者	41	支払利息
株主	105	少数株主利益+支払配当額
企業内部等	221	利益剰余金当期増加額
創出価値総額	367	